とび、鉄筋、型枠が合同で出前講座

布施工科高校の3年生を対象に開催

国交省の千葉室長らが視察

関西鉄筋工業協同組合(岩田正吾理事長)は6月10日、近畿建設躯体工業協同組合(山本正憲理事長)と合同で、大阪府立布施工科高等学校で出前講座を開催しました。当日は建築設備系建築システム専科の3年生30名が参加し、生徒たちは一日かけて鉄骨の建て方や鉄筋の結束作業、型枠の組立作業などの躯体工事を一連の工程の中で体験しました。

出前講座ではまず、同校の阿部政之校長が挨拶し「今日は一日でとびや鉄筋、型枠など、いろいろな職種を体験できる貴重な機会だ。将来の進路選択などきょうの体験を通じて良い成果をあげてほしい」と期待を込めました。また、躯体と鉄筋の両組合の上部団体である大阪府建団連の北浦年一会長は「将来、自分が選んだ道に誇りを持ち、それが正解だと思えるような仕事に就いてほしい。きょうの体験で何か一つでもヒントを見つけてもらえればと思っている」と呼びかけました。

引き続き、生徒たちは座学で鉄筋工事やとび工事、型枠工事、圧接工事の概要や安全活動などについて説明を受けた後、30名が2班に分かれて午前はとびと鉄筋、午後はとびと型枠の実習作業が行われ、鉄骨建て方や柱・壁の鉄筋組立、型枠の組立を体験。午前の講座では圧接作業の実演見学と体験も行われました。

今回は両組合の合同開催となり、これに関西圧接業協同組合の協力も得られたため、座学も含めて幅広い作業を体験できるようにしたのが特徴で、生徒たちは1時限から6時限まで使って各職種の内容は工程の中での関連性などについて理解を深めていました。

また、当日は国土交通省から土地・建設産業局建設市場整備課の千葉信義・労働資材対 策室長らが同校を訪問し、出前講座を視察しました。

- ※ 今回の出前講座に参加協力、応援をいただいた組合員は次の通り。
- 岩田理事長
- · 戸田副理事長
- 田浦副理事長
- 森山直樹氏(城東鉄筋)
- 恵谷信氏(恵谷鉄筋)
- 福本貴至氏(福本鉄筋工業)
- ・ 職人さん (戸田鉄筋、恵谷鉄筋、長木鉄筋、正栄工業)



